

2. 事業者システムを運用する上での注意事項

- (1) 事業者システムは、必ず初期画面に戻ってメニューの「終了」で終わらせて下さい。
- (2) 保存フォルダと送付フォルダを同じ場所にしている場合は、提出メディア作成時には、送付メディアをセットし、作成が終了したら、保存用のメディアをセットするようにして下さい。
- (3) 送付メディアには、異なる月のデータを混在させることは出来ません。
- (4) 送付メディアには、通常提出データと再提出データの混在は出来ません。
- (5) メディアの保存中に、メディアが一杯になってしまった場合は、新しいメディアをセットして下さい。この時、途中まで処理をしていたメディアは、フォーマットをして下さい。
- (6) 使用したメディアに格納出来ない場合は、使用したメディアより容量の大きなメディアを使用するようにして下さい。
- (7) 一度厚生労働省または都道府県へ提出するメディアを作成してしまったら、次回処理時は過去データ修正にて処理を行って下さい。ただし、送付する前に修正箇所気付いた場合は、初期画面のメニュー「その他処理 当月送付済みファイルの取り消し」にて当月報告を行っていない状態にすれば当月報告処理を行うことが出来ます。この時、作成してしまったメディアは、フォーマットをして下さい。
- (8) 事業者情報画面の備考欄は、運用場所が事業者の時のみ入力可能です。
- (9) 在庫自動計算は以下の場合にはされません。
 - 過去データ修正処理
 - 自社システム当月報告処理
 - 何れも前月データの参照が出来ない為。
- (10) 単価変化率を設定し、各画面での単価チェック時に単価変化率の範囲外の場合は、青色表示されます。
- (11) 運用場所は、システム運用上大事なことなので、正しく入力して下さい。
- (12) 事業者システムを起動する時は、他のエクセルの作業は終了しておいて下さい。
- (13) 使用するメディアは、あらかじめフォーマットをし、ライトプロテクトを解除しておいて下さい。
- (14) 複数事業者のデータを、まとめて入力する場合（代行入力等）複数県にまたがる事業者を扱う際は、県毎にフォルダを分けて使用して下さい。
- (15) 上記（14）の場合は、インストールプログラムを分けたいフォルダ数分実行してフォルダ分けを行って下さい。
- (16) 事業者システムでは、外字の使用を認めておりませんので、外字を使用された場合は、データ保証は致しません。外字は使用しないで下さい。
- (17) 日本語入力項目への、ダブルクォーテーション「"」、カンマ「,」、強制改行「Alt + Enter」の入力は、認めません。
- (18) インターネットを利用して提出報告データを都道府県、厚生労働省への送信可能です。

3．自社システムと併用される場合の注意事項

- (1) 在庫の自動計算はされません。在庫は自社システム側で設定して下さい。もしくは、事業者システムを使用し、強制入力を入力して下さい。
- (2) 自社システムで作成したデータを、事業者システムに取り込むには、初期画面の格納先「保存データ」に表示されているフォルダに、データをコピーするか、もしくは、初期画面の格納先「保存データ」のフォルダを、自社システム作成データが収録されているドライブ（フォルダ）に変更して下さい。
- (3) 事業者システムと自社システムを併用して使用される場合は、事前に配布してあるファイル仕様書に記載されている内容で、作成したデータを使用して下さい。
- (4) 事業者システムで作成したデータを自社システムへ搬入する際に発生する諸問題に関しては、一切考慮していませんので、そのような運用をされる場合は、十分注意して下さい。
- (5) 事業者システムでは、外字の入力を認めておりませんので、自社システム側で外字を設定されていても、正常に受け取ることを保証出来ません。外字は使用しないで下さい。

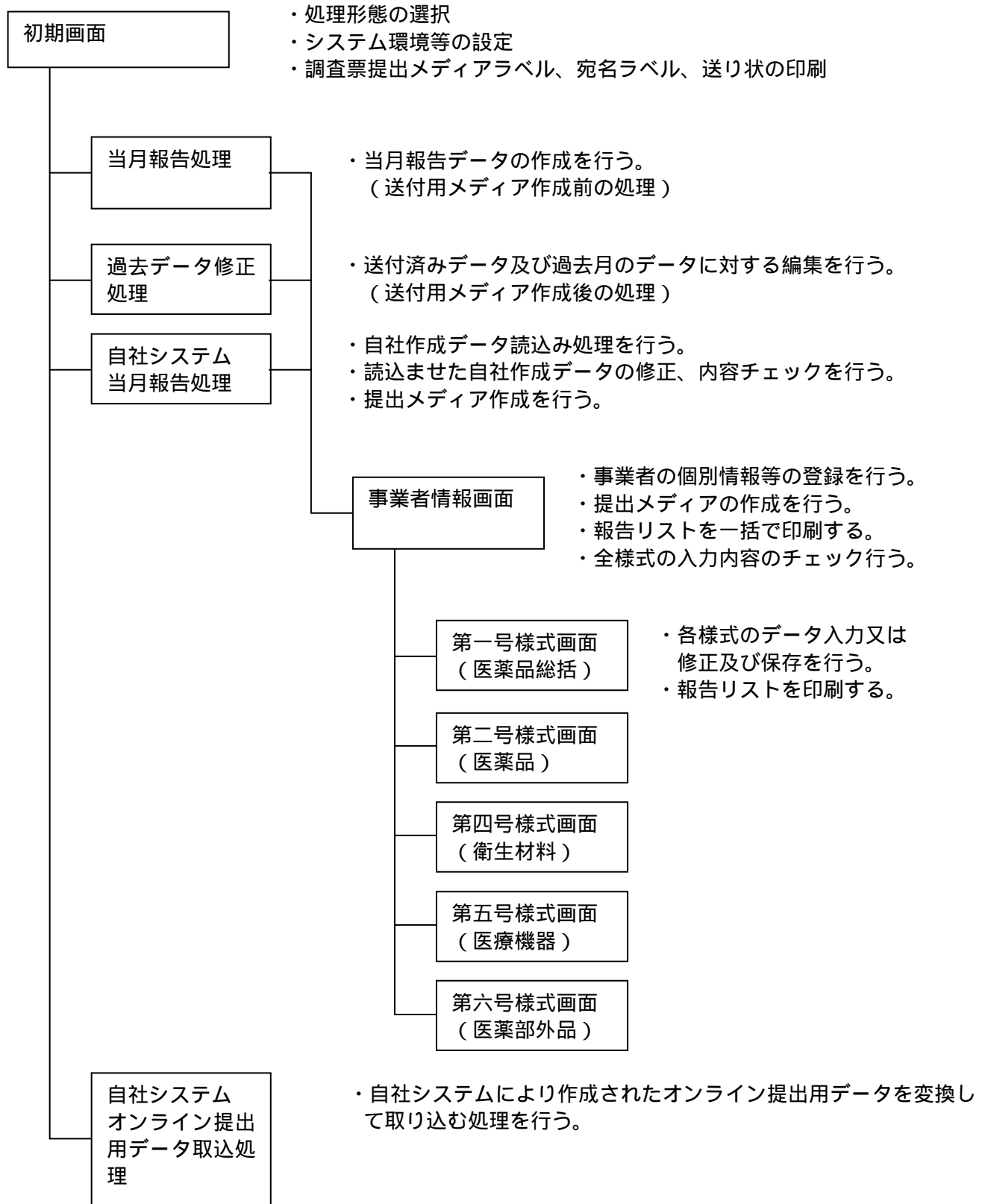
4．都道府県で事業者システムを使用される場合の注意事項

- (1) 都道府県及び厚生労働省にて代行入力を行う場合は、運用場所を ' 1 '（事業者）として下さい。
- (2) 都道府県で修正用に使用する事業者システムのフォルダと、代行入力をする事業者システムのフォルダは分けて下さい。
- (3) 受理システムと事業者システムを同時に起動することは出来ません。
- (4) 都道府県で、事業者システムの過去データ修正処理を実行し、データ修正を行った場合は、そのデータは、再提出と同じ扱いになります。

5．その他

- (1) データとして配布されるデータは、事業者の基本情報のみです。各表のデータは提供することができませんので、最初の月は、各表につき、1からの手入力が必要となります。
次月以降は前月報告データを利用して入力することができます。
- (2) 申請を中断した場合、使用を再開した時に参照されるデータは、最後に使用された時のデータとなります。抜けているものは、手入力して下さい。
- (3) 申告の手続きに関することは、各都道府県又は厚生労働省に照会して下さい。
- (4) 平成21年1月以降、医療機器分類番号の体系が変更されております。入力チェック時に第五号様式にてエラーが発生した場合、[医療機器調査票記入要領]にある8桁の医療機器分類番号が入力されているか確認してください。

画面遷移図



Ⅲ. 画面説明

1. 初期画面

この画面にて、報告年月・事業所番号・届先都道府県番号及び届先住所・名称・調査対象者 ID の入力を行う。また、当月報告・過去データ修正・自社システム当月報告

・自社システムオンライン提出用データ取込処理の何れの処理を行うのか選択する。

(注) 報告年月以外は、前回入力した内容が初期表示されるので、変更等があった場合のみ入力する。

[図 1 初期画面]

薬事調査票.xlsxm - Excel

ファイル 初期画面 サインイン

処理選択 印刷 その他 ユーザ... 終了

R14C8 : X ✓ fx

薬事工業生産動態統計調査 事業者システム 統計法に基づく
基幹統計調査

運用場所: 事業所 担当者: 1
事業者区分: 製造所 提出方法: メディア提出

処理情報

年	2014
月	7
事業所番号	123456000
都道府県	28 兵庫県
調査対象者ID	Ykad3000000001

送付先情報

〒	100-6916
住所1	東京都千代田区 霞が関一丁目2番2号
住所2	
送付先名称	厚生労働省 医政局 経済課 調査統計係
その他	

格納先:

保存データ C:\厚生労働省薬事\事業者\保存
送付媒体 C:\厚生労働省薬事\事業者\オンライン
バックアップ C:\厚生労働省薬事\事業者\バックアップ

Version 6.4 95%

(1) 初期画面メニュー内容

処理選択：行う処理を以下の中から選択する。

- ・ 当月報告処理 : 当月分の報告データの作成処理。
- ・ 過去データ修正 : 既に提出しているデータに対する修正処理。
- ・ 自社システム当月報告処理 : 自社システムにより作成された報告データから、当システムを使用した報告データ作成処理。
(保存データ格納先を、自社システム作成データの格納されている場所にする必要がある。)
- ・ 自社システムオンライン提出用データ取込処理 : 自社システムにより作成されたオンライン提出用データ取込処理。
(フォルダの参照画面より、自社システム作成データ格納先を指定する)
本処理後は、自社システム当月報告処理を実施する。

印刷：報告データを送付する際の、資料及びラベルの印刷を行う。

- ・ 送り状印刷 : 提出メディアに収録されているデータの内訳を印刷する。
- ・ 調査票提出メディアラベル印刷 : 提出メディアに貼るラベルを印刷する。
- ・ 送付宛名ラベル印刷 : 提出メディアの送付先を、ラベルに印刷する。

その他処理：付帯作業を行う。

- ・ 当月提出済ファイルの削除 : 提出メディアを作成し、送付する前に入力ミスに気付いた時、作成したメディアを格納先に入れてからこの処理を行う事により、内容を無効にし、もう一度、当月報告処理を行う事が出来る。
- ・ 指定月の削除 : 初期画面にて指定している、報告月・事業者の保存先フォルダに格納されている不用になった過去データの削除を行う。
- ・ 指定月の退避 : 初期画面にて指定している、報告月・事業者の前月のデータをバックアップ格納先へのコピーを行う。
- ・ バックアップ作成 : 保存先フォルダに格納されている全データを、バックアップ格納先へのコピーを行う。

ユーザー設定：システム環境の変更を行う。

- ・ パスワード変更 : パスワードの変更を行う。
- ・ 担当者 (追加・削除) : 担当者の追加・削除を行う。
(入力した英字は全て大文字として処理されます。)
例) a A b B
- ・ 保存データの格納先の変更 : 保存データの格納先の変更を行う。
- ・ 送付媒体格納先の変更 : 送付データの格納先の変更を行う。
- ・ バックアップデータの格納先の変更 : バックアップデータの格納先の変更を行う。
- ・ 運用場所の変更 : 運用場所の変更を行う。
- ・ 報告設定 : メディアによる報告又はオンライン提出による報告の変更を行う。
- ・ 事業者設定 : 事業者区分の製造販売事務所又は製造所の変更を行う。

終了：事業者システムを終了する。

- ・ 終了 : システムを終了する。

(2) 入力項目説明

- 年 : 報告年を西暦 4 桁で入力。
数字 4 桁で入力。
- 月 : 報告月を入力。(4 月製造 (5 月提出) 分は 4 月と入力。)
1 ~ 1 2 で入力。
- 事業所番号 : 事業所番号 (会社コード 6 桁 + 事業所コード 3 桁) を入力。
数字 9 桁で入力。
- 都道府県 : J I S コード表に記載されている都道府県コードを入力。
1 ~ 4 7 で入力。
- 調査対象者 I D : 調査対象者 I D を入力。
1 6 桁以内で入力。
- 郵便番号 : データ提出先の郵便番号を入力。
9 9 9 - 9 9 9 9 のように入力。
事業者が製造販売事務所の場合、厚生労働省の郵便番号を入力する。
また、事業者が製造所の製造所の場合、都道府県庁の郵便番号を入力する。
- 住所 1 : データ提出先の住所を入力。
事業者が製造販売事務所の場合、厚生労働省の住所を入力する。
また、事業者が製造所の製造所の場合、都道府県庁の住所を入力する。
(~ は送付宛名ラベルに印刷される情報)
- 住所 2 : 上記「住所 1」にて入力しきれなかった場合に、続きを入力する。
- 送付先名称 : データ提出先を入力。
事業者が製造販売事務所の場合、厚生労働省の担当部署名等を入力する。
また、事業者が製造所の製造所の場合、都道府県庁の担当部署名等を入力する。
- その他 : 宛名ラベルに特筆すべき事項を印字したい場合に入力。
使用者が任意に入力可能。

(3) 表示項目説明

- 運用場所 : 事業者システムの運用場所を表示。
「ユーザー設定」 - 「運用内容変更」 - 「運用場所」にて変更可能。
- 担当者 : システム起動時に設定した担当者 I D の担当者名を表示。
「ユーザー設定」 - 「運用内容変更」 - 「担当者登録」にて修正可能。
- 事業者区分 : システム起動時に設定した事業者区分を表示。
「製造販売事務所」或いは「製造所」が表示される。
「ユーザー設定」 - 「運用内容変更」 - 「事業者区分」にて変更可能。
- 提出方法 : システム起動時に設定した提出方法を表示。
「メディア提出」或いは「オンライン提出」が表示される。
「ユーザー設定」 - 「運用内容変更」 - 「提出設定」にて変更可能。
- 都道府県名 : 都道府県コードに該当する「都道府県名」を表示。
- 格納先 保存データ : 入力したデータが保存されるフォルダを表示。
初期設定では<<インストール時に指定したフォルダ>>¥事業者¥保存
です。
「ユーザー設定」 - 「格納先変更」 - 「保存データ」にて変更可能。
- 格納先 送付媒体 : 提出方法が「メディア提出」の場合、通常は C: になっています。
また、提出方法が「オンライン提出」の場合、
<<インストール時に指定したフォルダ>>¥事業者¥オンライン を表示。
「ユーザー設定」 - 「格納先変更」 - 「送付媒体」にて変更可能。
- 格納先 バックアップ : 保存されているデータのバックアップ先を表示。
初期設定ではハードディスクになっているがメディアに変更可能。
「ユーザー設定」 - 「格納先変更」 - 「バックアップ」にて変更可能。

2. 事業所情報画面

処理形態に関わらず同一画面が表示される。
通常は入力が不可になっているが強制入力モードにて入力可能になる。

[図2 事業所情報画面]

Excel application window: 薬事調査票.xlsm - Excel

メニュー: ファイル 事業者入力

ツールバー: 初期画面, 第四号様式, 強制入力, 提出用オンラインデータ作成, 報告リスト(一括), 入力チェック(全様式), 第一号様式, 第五号様式, 提出用データ作成, 第二号様式, 第六号様式, F Dのフォーマット, 画面切替, 入力切替, ファイル, 印刷, その他

セル: R15C3

タイトル: 薬事工業生産動態統計調査 事業所情報 統計法に基づく基幹統計調査

操作: 当月報告処理

報告対象年	2014	年	事業者氏名又は名称	酸性薬品工業株式会社 代表取締役 平井 健次郎
" 月	7	月	事業所名	酸性薬品工業株式会社 兵庫工場
事業所番号	123456000		事業所所在地	兵庫県三田市三田4-11-1
都道府県名	兵庫県		郵便番号	669-1300
			電話番号	079-111-2222

単価変化率: 0

単価チェックする・・・100%の場合、“1000”
単価チェックしない・・・“9999”を入力

医薬品		備考	テスト用
許可番号(製造販売事務所)		報告義務者職名・氏名	工場長 山口 太郎
" (製造所)	28AZ000012	記入担当者	作業員1
区分	2	変更理由(第一号様式)	
		" (第二号様式)	

衛生材料		報告義務者職名・氏名	工場長 山口 太郎
許可番号(製造販売事務所)		記入担当者	作業員1
" (製造所)	28AZ000014	変更理由(第四号様式)	
区分	2		

医療機器		報告義務者職名・氏名	工場長 山口 太郎
許可番号(製造販売事務所)		記入担当者	作業員1
" (製造所)	28AZ000015	変更理由(第五号様式)	
区分	2		

医薬部外品

(1) 事業所情報画面メニュー内容

画面切替：遷移先画面の選択を行う。

- ・初期画面 : 初期画面へ遷移する。
- ・第一号様式 : 第一号様式入力画面へ遷移する。
- ・第二号様式 : 第二号様式入力画面へ遷移する。
- ・第四号様式 : 第四号様式入力画面へ遷移する。
- ・第五号様式 : 第五号様式入力画面へ遷移する。
- ・第六号様式 : 第六号様式入力画面へ遷移する。

入力切替：入力状態の変更を行う。

- ・強制入力 : 強制入力モードに変更する。

ファイル：提出ファイルに関する処理を行う。

【提出方法が「オンライン提出」の場合】

- ・提出用オンラインデータ作成 : 提出用オンラインデータを作成する。

【提出方法が「メディア提出」の場合】

- ・提出用データ作成 : 提出メディア用データの作成を行う。
提出メディアを格納先にセットしてから実行する。
過去データ修正処理にて実行した場合、再提出メディア作成となる。
- ・FDのフォーマット : FDの初期化を行う。
使用しようとしているFDが、フォーマットされていない場合に実行する。
送付メディアにFDを使用する場合は、作成する前に、
フォーマットしライトプロテクトを解除して下さい。
FDドライブはAドライブとなっています。別のドライブを対象にしたい場合、薬事調査票.xlsxと同じフォルダにある
User1.csv ファイルの24行目1列目に、“B”等ドライブ番号
を記入して事業者システムを再起動してください。

印刷

- ・報告リスト（一括） : 第一号様式～第六号様式までの報告リストの一括出力を行う。

その他

- ・入力チェック（全様式） : 第一号様式～第六号様式まで、全体の入力内容チェックを行う。

(2) 入力項目説明

入力切替にて強制入力を選択することにより、入力可能となる。

- 事業者氏名又は名称 : 入力要領記載内容通りに入力。(通常は前月データを表示。)
- 事業所名 : 入力要領記載内容通りに入力。(通常は前月データを表示。)
- 事業所所在地 : 入力要領記載内容通りに入力。(通常は前月データを表示。)
- 郵便番号 : 事業所所在地の郵便番号を入力。(通常は前月データを表示。)
999 - 9999のように入力。(必須入力)
- 電話番号 : 事業所内担当部門の電話番号を入力。(通常は前月データを表示。)
(入力必須)
- 単価変化率 : 前月報告データの単価と当月入力データの単価にて、変化率(金額がどれだけ変わっているか)のチェックを行う場合に入力する。
チェックをしない場合は、9999と入力する。
単価変化率を4桁(少数第一位までのパーセントを整数にて入力)で指定可能。
(例)100% 1000 90% 0900 のように入力すること。
- 備考 : 使用者が任意に入力可能。

【 医薬品 】

- 許可番号
(製造販売事務所) : 医薬品製造の許可番号(製造販売事務所)を入力。
英数字10桁で入力。
(通常は前月データを表示。)
- 許可番号(製造所) : 医薬品製造の許可番号(輸入)を入力。
英数字10桁で入力。
(通常は前月データを表示。)
- 申告義務者職名・氏名 : 入力要領記載内容通りに入力。必須入力。
(通常は前月データを表示。)
- 記入担当者 : 入力要領記載内容通りに入力。必須入力。
(通常は前月データを表示。)
- 変更理由第一号様式 : 第一号様式全体に渡る変更(強制入力)を行った場合に入力。
変更内容を大まかに入力する。
- 変更理由第二号様式 : 第二号様式全体に渡る変更(強制入力)を行った場合に入力。
変更内容を大まかに入力する。

(3) 表示項目説明

- 区分 : 事業者区分を表示する。
(1 : 製造販売事務所 2 : 製造所)

【 衛生材料 】 :【 医薬品 】と同じ。

- ・許可番号（製造販売事務所）
- ・許可番号（製造所）
- ・区分
- ・申告義務者職名・氏名
- ・記入担当者
- ・変更理由（第四号様式）

【 医療機器 】 :【 医薬品 】と同じ。

- ・許可番号（製造販売事務所）
- ・許可番号（製造所）
- ・区分
- ・申告義務者職名・氏名
- ・記入担当者
- ・変更理由（第五号様式）

【 医薬部外品 】 :【 医薬品 】と同じ。

- ・許可番号（製造販売事務所）
- ・許可番号（製造所）
- ・区分
- ・申告義務者職名・氏名
- ・記入担当者
- ・変更理由（第六号様式）

3. 第一号様式画面

(当月報告・過去データ修正・自社システム当月報告の何れでも同一画面となる。)

[図 3 第一号様式画面]

ファイル 第一号様式
サインイン

← 事業者入力
☑ 強制入力
保存
🖨 報告リスト
🔍 入力チェック

🖨 エラーリスト
🖨 対比表

画面切替
入力切替
ファイル
印刷
その他

R14C2 : ✕ ✓ fx 1

第一号様式〔第8条〕 医薬品生産(輸入)月報 総括表
統計法に基づく基幹統計調査

当月報告処理

2014年 7月分		
符 号	提出枚数	
月別	県名	事業所番号
7	兵庫県	123456000
第I票	第II票	計
1枚	0枚	1枚

報告義務者職名・氏名	工場長 山口 太郎
記入担当者	作業者1

6 総 計 (最終製品)

生産(輸入)金額		出 荷 金 額		(7) 月末在庫金額
(1) 生産	(2) 輸入	(3) 計	(4) 国内出荷	(5) 輸 出
		0		0

7 従 業 者

(1) 常 用 従 業 者			(2) 臨時従業者
(a) 男	(b) 女	(c) 計	月間延人員
1	0	1	0

変更理由	最終変更者

8 備 考

テスト用

事業所許可番号	事業所の氏名又は名称	事業所名	事業所所在地	電話番号
28AZ000012	酸性薬品工業株式会社 代表取締役 平井 健次郎	酸性薬品工業株式会社 兵庫工場	兵庫県三田市三田4-11-1	079-111-2222

(1) 第一号様式画面のメニュー内容

画面切替：遷移先画面の選択を行う。

- ・事業者入力 : 事業所情報画面へ遷移する。

入力切替：入力状態の変更を行う。

- ・強制入力 : 強制入力モードに変更する。

ファイル

- ・保存 : 第一号様式画面にて入力した内容を、保存データ格納先へ保存する。

印刷：出力リストの選択を行う。

- ・報告リスト : 報告内容確認リストの出力を行う。
- ・エラーリスト : 入力エラーとなっている項目を、一覧表として出力する。
- ・対比表 : 過去データ修正処理でのみ出力可能。
修正前データと修正後データにて、変更された項目を一覧出力する。

その他

- ・入力チェック（全様式） : 第一号様式画面にて入力した内容のチェックを行う。

(2) 入力項目説明

(過去データ修正処理の場合は、入力切替にて強制入力を選択した場合のみ入力可能となる。)

[従業者] 男 : 入力要領記載内容通りに入力。

[従業者] 女 : 入力要領記載内容通りに入力。

臨時従業者月間延人員 : 入力要領記載内容通りに入力。

(3) 表示項目説明

- 総計（最終製品） : 第二号様式入力後、自動で計算される。
- 生産 : 第二号様式の生産金額から輸入を除いた金額を集計して表示される。
- 輸入 : 第二号様式の用途区分が 3、6、9 の生産金額を集計して表示される。
- 国内出荷 : 第二号様式の出荷区分が 1（国内出荷）の出荷金額を集計して表示される。
- 輸出 : 第二号様式の出荷区分が 2（国外出荷）の出荷金額を集計して表示される。

備考 : 事業者情報画面にて入力した備考欄が表示される。

4. 第二号様式画面

(当月報告・過去データ修正・自社システム当月報告の何れでも同一画面となる。)

[図4 第二号様式画面]

ファイル 第二号様式 サインイン

← 事業者入力 強制入力 保存 新規品目追加 報告リスト 対比表 入力チェック
在庫強制入力 削除 エラーリスト 月末在庫自動分割
特例処理リスト 前月在庫表示

画面切替 入力切替 ファイル 編集 印刷 その他

R1102 :

第二号様式 (第8条) 医薬品生産(輸入)月報				統計法に基づく基幹統計調査					
当月報告処理		入力件数: 10							
2014年7月分	兵庫県	事業所番号: 123456000	酸性薬品工業株式会社 兵庫工場	区分: 2	許可番号(製造販売事務所):	許可番号(製造所): 28A			
6 委託先 事業所番号	7 品名	8 規格	9 銘柄コード (統一コード)	10 金額				生産	
				生産(輸入) 千円	出荷 千円	月末在庫 千円			
計				30,074	0	30,305			
1	アクリチン錠1mg	1mg1錠	1162001F1040	1	1	1	13,345	0	13,345
2	アクリチン細粒1%	1%1g	1162001C1035	1	1	1	0	0	231
3	アマンタジン塩酸塩10%散	10%1g	1161001B1016	1	1	1	1,423	0	1,423
4	アマンタジン塩酸塩10%細粒	10%1g	1161001C1011	1	1	1	12,341	0	12,341
5	イミプラミン塩酸塩錠	10mg1錠	1174006F1019	1	1	1	1,123	0	1,123
6	イミプラミン塩酸塩錠	25mg1錠	1174006F2015	1	1	1	155	0	155
7	エチゾラム錠0.5mg	0.5mg1錠	1179025F1239	1	1	1	1,511	0	1,511
8	エチゾラム錠1mg	1mg1錠	1179025F2235	1	1	1	143	0	143
9	クアゼバム錠15mg	15mg1錠	1124030F1070	1	1	1	33	0	33
10	クアゼバム錠20mg	20mg1錠	1124030F2041	1	1	1	0	0	0

所): 13A2000001

単 価		11 数 量			
生産(輸入) 円	出 荷 円	記入 単位 000	生産(輸入) (11)	出 荷 (12)	月末在庫 (13)
¥0	¥0	J 0	0	0	0
¥16,667	¥0	A 3	300		
¥55,000	¥53,868	E 3	1,100	630	470
¥740		C 0	500		
¥5,000	¥11,667	M 0	100	30	70

(1) 第二号様式画面のメニュー内容

画面切替：遷移先画面の選択を行う。

- ・ 事業者入力 : 事業所情報画面へ遷移する。

入力切替：入力状態の変更を行う。

- ・ 強制入力 : 強制入力モードに変更する。
運用場所が事業者・自社システムの場合は、画面全体の入力項目が
入力可能となる。
運用場所が都道府県・厚生労働省の場合は、カーソルのある行の入
力項目が入力可能となる。
- ・ 在庫強制入力 : 金額・数量の当月在庫のみの強制入力モードへの切替を行う。
(列単位)

ファイル

- ・ 保存 : 第二号様式画面にて入力した内容を、保存データ格納先へ保存する。

編集：画面編集機能の選択を行う。

- ・ 新規品目追加 : 新規品目を追加出来るように、カーソルのある空白行を編集可能状
態にする。
- ・ 削除 : カーソルのある行を削除する。

印刷：各種帳票の印刷を行う。

- ・ 報告リスト : 報告内容確認リストの印刷を行う。
- ・ エラーリスト : 入力エラーとなっている項目を、一覧表として印刷する。
- ・ 特例処理リスト : 強制入力を行った項目を、一覧表として印刷する。
- ・ 対比表 : 過去データ修正処理でのみ出力可能。
修正前データと修正後データにて、変更された項目を一覧表として
印刷する。

その他

- ・ 入力チェック : 第二号様式画面にて入力した内容のチェックを行う。
- ・ 月末在庫自動分割 : 同一品目に対して、複数の輸出入国がある場合に、同一品目の先頭
行に月末在庫を積み上げて計算し、表示させる。
(注) 連続して月末在庫がマイナスになっている行を対象として
いる。
入力ミス等で月末在庫がマイナスになってしまった場合も、
積み上げて計算してしまうので、入力には十分気を付けて
下さい。
- ・ 前月在庫表示 : 選択すると前月在庫の表示を行う。
(月末在庫欄の隣に内容が表示される)
選択解除すると前月在庫の表示をやめる。

(2) 入力項目説明

- 委受託先事業所番号 : 入力要領記載内容通りに入力。数字 9 文字。
(通常は前月データを表示。
入力切替にて強制入力を選択することにより、入力可能となる。)
- 品名 : 入力要領記載内容通りに入力。
(通常は前月データを表示。
入力切替にて強制入力を選択することにより、入力可能となる。)
- 規格 : 入力要領記載内容通りに入力。
(通常は前月データを表示。
入力切替にて強制入力を選択することにより、入力可能となる。)
- 銘柄コード (統一コード) : 入力要領記載内容通りに入力。半角 1 2 文字まで入力可能。
(通常は前月データを表示。
入力切替にて強制入力を選択することにより、入力可能となる。)
- [記号] 用途区分 : 入力要領記載内容通りに入力。数字 1 文字。
(通常は前月データを表示。
入力切替にて強制入力を選択することにより、入力可能となる。)
- [記号] 用途区分国コード : 入力要領記載内容通りに入力。数字 3 文字。
(通常は前月データを表示。
入力切替にて強制入力を選択することにより、入力可能となる。)
- [記号] 製造区分 : 入力要領記載内容通りに入力。数字 1 文字。
(通常は前月データを表示。
入力切替にて強制入力を選択することにより、入力可能となる。)
- [記号] 出荷区分 : 入力要領記載内容通りに入力。数字 1 文字。
(通常は前月データを表示。
入力切替にて強制入力を選択することにより、入力可能となる。)
- [記号] 出荷区分国コード : 入力要領記載内容通りに入力。数字 3 文字。
(通常は前月データを表示。
入力切替にて強制入力を選択することにより、入力可能となる。)
- [金額] 生産 (輸入) : 入力要領記載内容通りに入力。数字 9 文字。
(通常入力項目)
- [金額] 出荷 : 入力要領記載内容通りに入力。数字 9 文字。
(通常入力項目)
- [金額] 月末在庫 : 入力要領記載内容通りに入力。数字 9 文字。
(通常は自動計算結果を表示。
入力切替にて強制入力を選択することにより、入力可能となる。)

- [数量] 記入単位 : 入力要領記載内容通りに入力。各半角1文字づつ。
(通常は前月データを表示。
入力切替にて強制入力を選択することにより、入力可能となる。)
- [数量] 生産(輸入) : 入力要領記載内容通りに入力。数字9文字。
(通常入力項目)
- [数量] 出荷 : 入力要領記載内容通りに入力。数字9文字。
(通常入力項目)
- [数量] 月末在庫 : 入力要領記載内容通りに入力。数字9文字。
(通常は自動計算結果を表示。
入力切替にて強制入力を選択することにより、入力可能となる。)
- 備考 : 使用者の任意入力欄。
覚書等に使用して下さい。
備考欄のデータは都道府県には送られません。
(運用場所が事業者の場合のみ)(通常入力項目)

金額・数量にマイナス、小数点の入力はできません。
返品・廃棄・サンプル等は強制入力を行って在庫を調節してください。

(3) 表示項目説明

- 単価 : 金額×1000を数量で割った値。
金額または数量に入力ミスが無いよう確認の為、参照して下さい。
単価欄への入力はありません。

5. 第四号様式画面

(当月報告・過去データ修正・自社システム当月報告の何れでも同一画面となる。)

[図5 第四号様式画面]

ファイル 第四号様式 サインイン

← 事業者入力 強制入力 保存 新規品目追加 報告リスト 対比表 入力チェック
在庫強制入力 削除 エラーリスト 月末在庫自動分割
特例処理リスト 前月在庫表示
画面切替 入力切替 ファイル 編集 印刷 その他

R14C15 : 0

第四号様式〔第8条〕 衛生材料生産(輸入)月報 統計法に基づく基幹統計調査

当月報告処理 入力件数：4

2014年7月分 兵庫県 事業所番号：123456000 酸性薬品工業株式会社 兵庫工場 区分：2 許可番号(製造販売事務所)：許可

5 品目別金額及び数量

6 委受託先 事業所番号	7 品名 (1)	用途 区分 (2)	用途区分 国コード (3)	製造 区分 (4)	出荷 区分 (5)	出荷区分 国コード (6)	8 金 額			単 価	
							生産(輸入) 千円 (7)	出 荷 千円 (8)	月末在庫 千円 (9)	生産(輸入) 円	出 荷
計							5,500	3,000	2,000		
1	A1	1		1	1		0	0	0	¥0	
2	444440001	A1	105	3			500	0		¥0	
3	A3	1		1	2	123	5,000	3,000	2,000	¥0	
4	B1	1		1	1		0	0	0	¥0	
5											
6											
7											



販売事務所： 許可番号(製造所)：13B2000002

単 価		9 数 量				
生産(輸入) 円	出 荷 円	記入 単位 (10)	生産(輸入) (11)	出 荷 (12)	月末在庫 (12)	
¥333	¥500	A 0	3,300	440	2,860	
¥1,429	¥0	B 0	350			
¥11,667	¥20,833	C 0	480	120	360	
¥4,000	¥0	D 0	1,000			

(1) 第四号様式画面のメニュー内容

画面切替：遷移先画面の選択を行う。

- ・ 事業者入力 : 事業所情報画面へ遷移する。

入力切替：入力状態の変更を行う。

- ・ 強制入力 : 強制入力モードに変更する。
運用場所が事業者・自社システムの場合は、画面全体の入力項目が
入力可能となる。
運用場所が都道府県・厚生労働省の場合は、カーソルのある行の入
力項目が入力可能となる。
- ・ 在庫強制入力 : 金額・数量の当月在庫のみの強制入力モードへの切替を行う。
(列単位)

ファイル

- ・ 保存 : 第四号様式画面にて入力した内容を、保存データ格納先へ保存する。

編集：画面編集機能の選択を行う。

- ・ 新規品目追加 : 新規品目を追加出来るように、カーソルのある空白行を編集可能状
態にする。
- ・ 削除 : カーソルのある行を削除する。

印刷：各種帳票の印刷を行う。

- ・ 報告リスト : 報告内容確認リストの印刷を行う。
- ・ エラーリスト : 入力エラーとなっている項目を、一覧表として印刷する。
- ・ 特例処理リスト : 強制入力を行った項目を、一覧表として印刷する。
- ・ 対比表 : 過去データ修正処理でのみ出力可能。
修正前データと修正後データにて、変更された項目を一覧表として
印刷する。

その他

- ・ 入力チェック : 第四号様式画面にて入力した内容のチェックを行う。
- ・ 月末在庫自動分割 : 同一品目に対して複数の輸出入国がある場合に、同一品目の先頭行
に月末在庫を積み上げて計算し、表示させる。
(注) 連続して月末在庫がマイナスになっている行を対象として
いる。
入力ミス等で月末在庫がマイナスになってしまった場合も、
積み上げて計算してしまうので、入力には十分気を付けて
下さい。
- ・ 前月在庫表示 : 選択すると前月在庫の表示を行う。
(月末在庫欄の隣に内容が表示される)
選択解除すると前月在庫の表示をやめる。